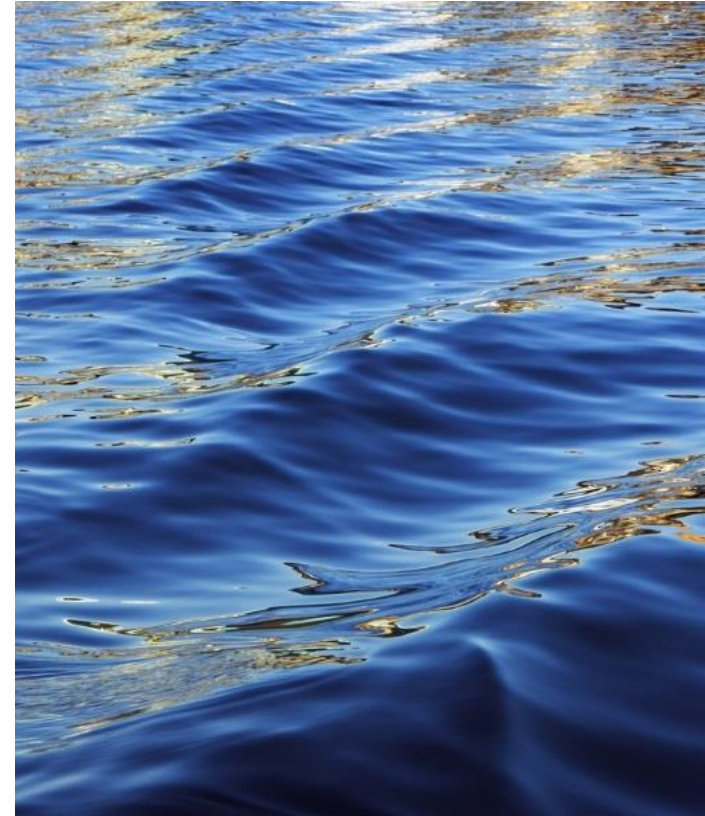


GFVC令和5年度 第1回全体会合

(輸出における鮮度保持技術や現地
ニーズ) コメント

GFVC代表 深川由起子 (早稲田大学)



全体潮流：ポスト・コロナ時代へのスタートダッシュを

- 続く追い風：円安、コロナ報復消費、アジアの所得上昇
- 地政学リスク、温暖化と自然災害→重要性増す食糧の戦略資源化→活力ある食品貿易（輸出と輸入）を国内の生産性向上と安定供給に！
- 福島処理水問題への対応→日本への風評被害防止戦略の必要性（攻撃は最大の防御、先制的情報戦略を）
- プラットフォームの在り方
 - (1) 先行事例からの拡大検討（日本酒）、何を重点にするか
 - (2) 加速化する関連技術で付加価値を向上（NFC、トークン販売、鮮度保持....新しい技術が輸出拡大につながる情報共有を）
 - (3) オンラインとオフラインの組み合わせ（中国・新興市場⇄成熟市場（欧州））
 - (4) 供給体制の改革：供給者の対応能力（長年の内需産業、中小企業制約（人材・情報制約）、供給者についての情報ネットワーク（多様性）
 - (5) 政策ビジョンの必要性（ニーズはたくさんある：情報共有に向けたデータベース（関税、貿易、検疫....）